

各 位

会社名 川上塗料株式会社
 代表者 代表取締役社長 西村聰一
 (コード:4616 東証スタンダード・名証メイン)
 問合せ先 取締役経理本部長 秋山素寛
 (TEL 06-6421-6325)

2025年11月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年7月14日に公表した業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

(1) 2025年11月期 連結業績予想数値と実績との差異(2024年12月1日～2025年11月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,790	10	38	24	円 銭 24.11
実績(B)	5,932	54	96	72	72.65
増減額(B-A)	142	44	58	48	
増減率(%)	2.5	443.3	153.3	201.3	
(ご参考)前期実績 (2024年11月期)	5,913	93	142	170	171.34

(2) 2025年11月期 個別業績予想数値と実績との差異(2024年12月1日～2025年11月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	5,730	0	35	24	円 銭 24.08
実績(B)	5,867	43	93	72	73.13
増減額(B-A)	137	43	58	48	
増減率(%)	2.4	—	167.4	203.7	
(ご参考)前期実績 (2024年11月期)	5,853	80	137	168	169.40

(3) 差異の理由

(個別実績)

2025年7月14日に公表しました「2025年11月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異及び2025年11月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」にありますように、売上高につきましては、機械・金属関連といった当社の主要な取引先での生産減による需要減退などにより販売数量が伸びず、通期の業績予想について需要の回復及び販売数量の大幅改善が見込まれないとして下方修正しましたが、その後、一部取引先で需要の回復が見られ、また一部販売価格は正が実現したため前回予想を上回りました。利益面につきましては、想定以上に長引く原材料高騰及び物流費、人件費など諸経費の増加を、生産性の向上や販売価格への転嫁などで補いきれない状況であったことから通期の業績予想を下方修正しましたが、売上高の増加や諸経費・過剰在庫の削減及び生産効率改善などを行ったことから、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回りました。

(連結実績)

連結実績につきましては、個別実績と同様の理由であります。

※期末の配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上